

1. 開催場所：沖縄県総合福祉センター(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)
2. 開催日時：平成 23 年 11 月 15 日(火) 19 時 00 分～
3. 理事総数：7 名
4. 出席理事：比嘉靖、桑江良貴、石川丈、土田真也、上江洲聖、田村浩介、久貝明人  
※比嘉孝子(財務部)、神山育子(事務局員)、

### 【審議事項】

#### 1) 財務部

ある会員のご家族から『県士会が協会の支部ではないという事が分からない。しっかり示す必要があるのではないか』との意見を頂いた。今後、広報を強化していくのか等の検討をしたい。

⇒会員は、昨年退職時に協会への退会手続きは行ったが、県士会へは行っていなかった為、この会員宛に「会費納入依頼」が郵送された(協会への退会等の報告は各士会に随時連絡が入る訳ではない為、士会ではタイムリーな情報を把握できない)。会員としては、「協会に届け出れば県士会でも退会の扱いになる」との勘違いがあり、「なぜ退会届を提出したのに会費納入依頼が届いたのか?」との疑問から問い合わせを頂いた。

今後、下記の方法により「入退会・異動・改姓等の届けは、協会・県士会両方へ届けを出さないといけない」旨の広報を十分なものにする努力を行う。

- ①県士会のHPへ掲載(資金運用の目的や使い道等も含めて)
- ②県士会入会・退会・異動届けに記載(書式変更も含めて)
- ③県士会ニュースへ掲載

#### 2) 石川理事

##### (1) 研究会規定について

前回の理事会での意見を踏まえ、規定を整理しているが、支援方法(支援金を含め)や責務(研究会にとって重い課題なのか?)など具体化できていない…。

##### ⇒継続審議

挙げた意見として

〈支援方法〉

- ・研究会が主体となって開催する研修会などで予算が必要な場合、特別予算などを組んでバックアップが出来るような体制が必要ではないか。
- ・県士会がサポートに入ることによって信頼性などでも力になるのではないか。

〈責務〉

- ・県民への健康貢献や啓蒙、教育、研究成果をみせていく必要があるのではないか。
- ・活動内容に関して、学術誌や学会発表、研修会で成果を示す必要があるのではないか。
- ・学会の運営についても研究会に依頼していくのか検討が必要。

※理事会のみで決めていくのではなく、研究会の代表に集まっていただき、意見を聞く場を設けていく。

### 【報告事項】

#### 比嘉会長

- ・第 33 回九州 PT・OT 合同学会会議等参加(平成 23 年 11 月 18 日)
- 第 32 回九州 PT・OT 合同学会収支監査(比嘉、矢野、三枝対応)、九州支部会議参加(比嘉、久貝)

#### 事務局

局長：久貝明人

##### 1) 会員動向について

- 【入会】2 名
- 【異動】4 名
- 【退会】3 名
- 【改姓】1 名

##### 2) 受理文書

都道府県士会ニュース(群馬、北海道、大阪、広島、島根、山口、山梨、新潟、福岡、長野)、  
役員改選(岩手、宮城、埼玉)、後援依頼(沖縄県精神障害者福祉会連合会)、  
他団体ニュース(沖福連)、学会誌・学術誌・情報誌(沖縄県 PT 士会、テクノエイド協会)、  
受診時定額負担に反対する署名運動(日本医師会)

3) 臨時総会報告 :

平成 23 年 11 月 13 日(日)17:05~17:45 出席 58 名・委任状 444 枚(合計 502)

第 1 号議案「一般社団法人への移行について」⇒承認

第 2 号議案「定款変更について」⇒承認(今後、指導等により若干の変更がある場合は HP 掲載等での対応)

4) 県・法務局への登記

昨年度の後期総会、今年度の前期総会が未報告。臨時総会とともに報告準備を進める。

5) 受診時定額負担に反対する署名運動について⇒署名に協力していく

財務部

部長：比嘉孝子

1) 会費について

会費収入 54 件 469,000 円 (今年度納入率 53%、昨年度 61%)

2) 入金迷子について：10/27 1 名 21,000 円

3) 会計打ち合わせ：10 月 21 日 (金)

4) 財務打ち合わせ：10 月 27 日 (木)

学術部

部長：石川丈

1) 研究会開催案内について：作業科学研究会 FAX 送信・ホームページ掲載実施。

2) 学術誌について：『沖縄県作業療法研究～第 5 号～』10 月 28 日(金)郵送作業終了

3) 九州士会長会合同研修会会議出席について：H23 年 11 月 19 日(土)11:30~(福岡県)

教育部

部長：土田真也

1) 生涯教育制度 基礎研修ポイント移行方法 マニュアル作成中：具体的運用については会員へも周知していく

2) OT 協会 生涯教育制度推進担当者会議 12 月 3 日 東京：認定・専門 OT の試験制度についての案が示される模様

3) 現職者選択研修(精神障害) 12 月 4 日 沖リハ学院：現在申し込み受付中

4) OT 協会 認定作業療法士取得研修 共通「研究法」1 月 7 日 - 8 日

会場：沖縄県立博物館・美術館 申請中 今後、受講対象者のリストアップ、個別の声かけを進めていく

5) 事例検討会② 1 月 22 日：近日、発表者募集の案内をかける

事業部

部長：喜田浩司

特に無し。

広報部

部長：久田直希

1) 広報誌(県外も含め)185 部郵送

2) ホームページリニューアルについて：今後調整していく。

福利部

部長：桑江良貴

1) 県学会託児所について

①会場と託児場所の距離 ②託児場所の環境設定(開けて良い時間、トイレの場所、空調設備等)

③事前に参加者の把握の難しさ(当日突然来られるケースなどへの対応)

④託児担当者の人員配置基準(事前に子供の人数、年齢が確定しない場合、ギリギリだと受けられなくなる  
⇒要事前の打合せ)

⑤託児事業の依頼、申込み確認、申込み確定の返信、託児人数の連絡

渉外部

部長：矢野俊恵

1) 沖縄医療推進協議会について

保険部

部長：上江洲聖

1) 診療報酬改定セミナーの日程について

⇒2 月、4~5 月の 2 回開催? ※協会に依頼する事も検討。